

頁数 位置	正誤内容	
	誤	正
48頁 図 2.13 ポアソン分布	上限 (n) あり	上限 (n) なし
207頁 Fの式における「変動が大きくなる」が指す位置	群数	群間変動
294頁 ロジスティック関数式の分母の符号	$\hat{p}_i = \frac{e^{-6.62+0.01x_i}}{1-e^{-6.62+0.01x_i}}$	$\hat{p}_i = \frac{e^{-6.62+0.01x_i}}{1+e^{-6.62+0.01x_i}}$
295頁 14行目	0.43	0.40 (丸めた値だと 0.35)
316頁 下から 6 行目	…の因子負荷量 r…	…の主成分負荷量 r…
326頁 標準化されている場合の右辺 (分散共分散行列式) 左上の成分	$b_{11}^2 + b_1^2 + d_1^2$	$b_{11}^2 + b_{12}^2 + d_1^2$
解答 26頁 数値の修正と加筆	5行目と5列目のクロスする“2”となります。	6行目と6列目のクロスする“5”となります。 検定表にはやや保守的な整数が示されているため、統計量と同値でも帰無仮説を棄却できるので、「2 群 …